

連合神津里季生会長 ～ 連帯のご挨拶～

(2020年2月22日、国民民主党定期党大会)

国民民主党2020年度定期大会へのご参集、大変にお疲れ様です。一言連帯のご挨拶を申し述べたいと思います。玉木代表をはじめとする国民民主党の皆様方には、いつも働く者本位の政策に向き合って頂き、その実現に向けて汗をかいて頂いております。心より感謝を申し上げる次第です。

私たち連合は、働くことを軸とする「安心社会」の実現を追い求めています。昨年、結成30周年を機に「守る、つなぐ、作り出す」、これをキーコンセプトとするビジョンを策定し、全国の48の構成組織と47の地方連合会が日夜、実践に努めています。足元においても、春季生活闘争真っ只中。特に今年は、分配構造の転換を果たすべく「底上げ、底支え、格差是正」に徹底的にこだわる取り組みを展開をしているところです。固定的な姿、悪弊を引きずる我が国の社会構造に風穴を開けることは容易ではありませんが、一步一步前に進めて参ります。

このような私たち労働組合の歩みと異なり、皆様方の政治の世界は、その瞬間、その瞬間での結果を求められる。まさに生き馬の目を抜くような、修羅場の連続だと思えます。そして私たちは、そのような中で必死に将来の展望を切り開こうとされる皆様方を、心の底から応援をしています。

そのようなエールを送る気持ちで3つお願いを申し上げます。

まず改めての結束強化を期待致します。お互いの意見を率直に出し合いながら、しかし最後は一つにまとまっていくという、現在の国民民主党の姿は非常に大事だと思っています。必ず今後につながっていくと信じています。

そして2つ目です。生活者本位の政策を目立たせて下さい。政権与党の疑惑追及も非常に大事ですが、相手はむしろそこに執着をさせ、埋没をさせようとしているかのごとく振舞っています。暖簾(のれん)に腕押しと見えない、そういった工夫を求めるとともに、多くの有権者の関心の強い、日々の暮らし向きや福祉の問題でアピールを強めて欲しいと思います。

3つ目です。有権者にもう一つの選択肢を示すべく、そのあり方を粘り強く追求して下さい。有権者の多くは政権与党ではない、しっかりと

した、もう一方の選択肢を待望しています。これは玉木代表が真っ先に掲げたことでもあります。足元の候補者調整のピッチを上げて、そして皆様の思いが生きる形で、二大政党的運営の実現を目指して頂きたいと思います。私たち連合も働く者の幸せ実現に向けて、力を尽くして参ります。共に頑張りましょう。ありがとうございました。